

海外留学報告書

【参加者A】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	3	年
プログラム名	アジア研修(タイ)					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 18 日 ~ 2024 年 2 月 25 日 (約1週間)					
留学先 (国・地域)	タイ	留学先大学名	イースタンアジア大学			

1. 留学した理由、目的・目標	タイへの研修を希望した理由はタイの文化や日本との違いを知りたいと思ったことです。また昨年神戸国際大学に来ていたタイ人学生とたこ焼きパーティーをした時、タイの人たちについてもっと知りたいと感じたからです。そして、友達とはなく知り合いがない状態で自分にどこまでコミュニケーション能力があるのかを知りたかったのが今回の研修の目的です。研修の目標はタイの文化を理解すること、日本に来た時に案内できるくらいのタイ人の友達をつくること、コミュニケーション能力を上げて自分に自信をつけることです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	一日目は、ウェルカムセレモニーで学校の紹介、自己紹介、仲良くなるためのゲーム、バディとのマッチングなどをしました。ショッピングモールでは初めてのタイ料理(ガバオライス)を食べ、買い物もしました。二日目は、大学でタイと日本のお互いの社会問題のプレゼンテーションをし、ガバオライスを食べ、タイガーバームを作りました。また、タイ語で自己紹介の仕方を教わり、夕食にはフォーを食べました。三日目は、ヤクルト工場(アユタヤ)の見学、ワット・パナンチューン、ワット・プラマハタート、ワット・ヤイチャイモンコンなどのお寺に行き、象に乗ることもできました。四日目は、最後の大学でのプログラムでマッサマンカレーを作り、カレーとカオニャオ・マムアンを食べました。また、皆で民族衣装を着せていただき、伝統的な踊りを体験しました。閉会式でお土産交換や表彰式をし、屋台のマーケット(K6マーケット)に行きました。五日目は、ワット・アルン、ワット・ポー、シャム博物館、MBKショッピングモールに行きました。最終日は、JJマーケットに行き、お土産や雑貨を買いました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	目標であるタイの文化を理解することは、研修に行く前に自ら調べ、実際に現地では体験ができたので達成できたと思います。日本に来た時に案内できるくらいのタイ人の友達を作るという目標も、来年バディの子を観光案内すると約束しとても仲良くなったので達成できたと思っています。コミュニケーション能力を上げて自信をつけることは、自分から話しかけることが出来たので少し能力が上がったと思います。新しく発見したことは、タイでは信号がない道路があり日本とは反対で運転手優先であること、タイではみんな自分の誕生日を覚えていて曜日別にいる仏像に手を合わせる事、お寺では靴を脱いで露出を少なくして入ること、フードコートではお金をカードに変えてお金を払うシステムが導入されていたこと、見ない日はないくらい野良犬がいること、タイには消費税がないことなどです。新しく感じたことは、タイの人は優しく、サービス精神が旺盛なことです。また食事が日本と違ってしょっぱい味、甘い味、辛い味を混ぜて食べる料理が多いことなどです。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回はタイ語でしたが、つたないタイ語を話して店員さんに伝わった時とてもうれしかったこともあり、万国共通である英語をもっと勉強してどこにも行けるようになりたいと思うようになりました。そして今回、知り合いがない状態で留学に行き、一緒に行く日本人学生やバディのタイ人学生に自分から話しかけて友達になることが出来たので、社会人になっても待っているだけではなく、まずは自分から話しかけることを大切にしようと考えています。また、タイは日本とは違うところが沢山あって大変でしたが、自国とは違う文化の国はもっとたくさんあるので、これからも異文化を否定せず受け入れることも大切にしようと思いました。最後に、プレゼンテーションで難しい日本語を簡単な言葉にかみ砕いて発表したのですが、それがとても大変だったこともあり、何語であっても人に説明するときや異国に人に説明するときは簡単な言葉に置き換えたりゆっくり話すことを心がけようと思うようになりました。
5. 自由記述	タイか韓国が迷いましたが、全く文化を知らなかったタイに行っても良かったと思います。

提出日 2024 年 3 月 4 日

海外留学報告書

【参加者B】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	2	年
プログラム名	アジア研修(タイ)					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 18 日 ~ 2024 年 2 月 24 日 (約1週間)					
留学先 (国・地域)	タイ	留学先大学名	イースタンアジア大学			

1. 留学した理由、目的・目標	「自分から行動する力を身につける」のが目標だった。私は元々、新しい・知らないことや環境に自分から進んで行動・挑戦することが苦手な性格だったため、この性格を少しでも改善するきっかけにしたいと思い、アジア研修への参加を決めた。韓国とタイの選択でタイを希望したのは、韓国は日本から近く、旅行で気軽に行ける距離だが、タイは韓国より気軽にはいけない距離で、またどのような国なのか知らなかったため、新しい・知らないことや環境に行って知るチャンスだと思ったからである。アジア研修は初海外でも安心なプログラム内容だったため、挑戦しやすいのもあった。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	活動で特に印象に残ったのは2日目のプレゼンテーションと4日目のマッサージ作り。プレゼンテーションはタイの学生が1人ずつ、物乞い・歩行者の交通死亡事故・ローイクラトンのゴミ問題の3つのテーマで日本と似た社会問題・違った社会問題について発表をし、聞いて面白かった。タイのマッサージを作った。マッサージは昔の伝統的な作り方で、楽しかった。野菜が全く入ってなかったので聞いてみると「今は入れるけど昔は入れなかった」と先生が教えてくださり、現代との違いを知ることもできた。生活面ではトイレに困った。寺院のトイレはやはり汚く隣にあるバケツの水をすくって自分で流すやり方だったため、便座に水が飛び散っており、ウェットティッシュとティッシュで便座を拭いてから使用した。
3. 留学の成果 (目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	「自分から行動する力を身につける」という目標は達成できたと思う。それを実感したのが最終日のJJマーケットでの定員さんとの交流である。「まけて下さい」のタイ語をバディの子達に教えてもらい、実際に自分から定員さんに交渉し、合計で100バーツ以上かけてもらうことができた。自分でもその時「少しは自分からできたかな?」と思ったが、そのエピソードを日本に帰って家族に伝えた時、「いつからそんなに積極的になったの?」と言われ、他から見ても変わったのかと改めて自分の変化を感じた。また、タイの文化についても知ることができた。例えば、消費税がないこと。食事の前に「いただきます」という習慣がないこと。ショッピングモールのフードコートでは食べた後、自分で食器を片付けるのではなく、作業員の方が片付けること。生まれた曜日で神様がいてこと等で。日常生活の中で、日本との違いが見えたことが楽しく、新鮮に感じた。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	留学すると決めて初めは初海外で友達もおらず不安だったが実際行くと、とても自分のためになり行ってよかったと心から思った。今回の研修で自分が思ったことは行動に移すこと。やらない後悔よりやる後悔という気持ちになった。私は次3年生になり、就職活動が始まる学年でもある。私は保守的で先を想像し、物事を諦めてしまう癖があるが、これからは学業でも就職活動でもプライベートでも自分が興味をもったものにチャレンジし続け、度胸・知識を増やすことに活かそうと思う。
5. 自由記述	基本的に車で移動でかなり揺れるので酔いやすい人は酔い止めを持って行ったほうが良い。日差しが強く寺院では日影がほぼないので帽子などの日除けグッズ、暑いのでハンディファンを持っている人は持って行くべき。日傘は持って行っても良いと思うが傘をさすスペースはなかった。大学内や食事の時にペットボトルの水を沢山くれて余るため、寺院の時も余った水を持って行ったが、外で歩き回る時は水だと物足りなかった。塩分・糖分が入った飲み物を飲んだほうが良い。ウェットティッシュは絶対に持って行くべき。手を拭くとき、食器を拭くとき、アルコール消毒のないトイレで便座を拭くとき等使う場面が多い。寺院で私が使用したトイレは靴をかけるフックもなかったため、ショルダーバッグのような両手が空くバッグの方が楽だと感じた。

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者C】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	アジア研修(タイ)					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 18 日 ~ 2024 年 2 月 25 日 (約1週間)					
留学先 (国・地域)	タイ	留学先大学名	イースタンアジア大学			

1. 留学した理由、目的・目標	<p>理由は複数ある。一つ目は、これからや今の日本社会や世界を見たときにどんどんグローバル化が進んでいることから、自分も近いうちに海外と触れ合う機会が増えると考えた。そのために、受動的ではなく能動的に動けるようになりたいと考えたことや、早めに経験を積むことが大切だと考えたからである。二つ目は、今までは、日本の中でしか生きてこなかった為、日本以外での景色を見てみたいと思ったからである。三つ目は、自分が営業職を希望しているため、海外の人との交流が増えるだろうという考えから、見据えている進路のうえで必要と感じたからだ。今回も次回も含め将来的に自信を持って会話をできるようにするまで言語を習得することが目標である。</p>
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	<p>タイではほんの少し座学もあったが、学習の大半はフィールドワークを活用している事で、聞いて想像から得るよりもはるかにタイという国に触れる事ができた。フィールドワークの場所の数も時間の関係上増えたりして、感じたり、想像したりして文化により敬意を持てるようなものとなっていた。座学は、短い時間で簡潔にまとめられていて分かりやすかった。内容もすぐに理解がしやすいような日常会話の紹介で遊び心を含んだものだった。そのため、明るくかつ楽しく受ける事ができた。生活面は、言葉が通じないため多少なりとも不便を感じることはあったが、とても良かった。強いていうなら、英語がもう少し通じるのいいと感じた。1日目は、イースタンアジア大学で自己紹介と親睦を深めるための交流を目的としたゲームをした。その後、Market villageへ行ってショッピングをした。ここで少しづつ話すようになった。次に、ホテルに行ってからその日最後のショッピングをfuture Parkでおこなった。2日目は、大学でプレゼンテーションをした。タイの学生たちは3人の発表だった。すごく丁寧に作られていた。文句のない仕上がりが良かった。自分たちの発表は少しざこざこしいところはあったが、予定していたところまでは進められていて、改善できるところは多いかもしれないと感じた。その後、タイの人とヤーモンというタイに古くからある塗り薬を作った。次に、昨日と同じようにショッピングをして終わった。3日目は、ヤクルト工場見学がスタートだった。あまり見る事がないだろう貴重な経験をした。その後時間が予定より余ったため急遽ワット・バナチュエンに行った。大きな仏像があって、中には屋台みたいなものがあった。さらに、奥に進むと拝む場所があって、入り口よりも、もっと大きな仏像があった。建物の周りには、川？があって、餌やりを体験する事ができた。魚が日本という鯉のようで迫力を感じた。そのあと、飲食店に行きアヒルを食べたが、骨が多くてあまり美味しくなかった。次は、ワット・ヤイ・チャイ・モンコンに行った。歴史を感じるような風化した建造物があり、本堂みたいなところがあった。建造物の中に入れるところもあって中はジメジメしていた。全体的に仏像が大きかった。象に乗って散歩する体験もした。何事にも代えられない経験をして感動した。ワット・ブラ・マハータートも訪れた。初めて有名な仏像の顔が木の中にあるものを見た。4日目は、キャッサバを作った。そのあとタイの言葉をクイズ・授業形式で習った。閉会式があり、そこで修了書をいただいた。ショッピングもした。5日目、サイアム博物館に行った。そのあと、ワットポーに行った。MBK Marketにも行った。6日目は、一日中ショッピングをしていた。そこで、お土産などを買った。帰りの飛行機の検査でなぜか引っぱりそうになり怖かったがこれも思い出となった。</p>
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	<p>今回の留学で自分が立てた目標を全然達成することができなかった。飛び立つ前に、英語圏ではないが英語で会計をできるころはあるだろうと思い、話し始める前に英語を使えるか聞くなどして積極的に英語で聞くなどしようと思いついたが、いざ目の前にすると臆してしまい、少ししかできなかった。そのため、目標の達成度は10%も満たないと思う。その数少ない試した回数の中で、自分が思っていた以上に英語で会話をすることは難しい事ではないのではないかと感じた。相手の言葉があまり聞き取れなくても何度も伝えたい事を言ったり、ジェスチャーを混ぜたりすれば相手もそれに合わせてくれるかのように涙み取ろうとしてくれたから。このことで、自分も英会話ができる可能性を見出すことができた。日本での生活はすごく発展しており、この裏で多くの技術に支えられていることを再確認した。トイレやホテルを始めとして、今回の研修で皆が大なり小なりは不便を感じたと思う。そういう時に、自分は日本ではあれだけの利便性のために努力を積み重ねてきたことが尋常ではないこと、その恩恵に感謝を持つべきだと感じた。タイの文化に触れていくうちに日本では感じる事ができなかった大きさのようなものを感じた。一つ一つの残っている物のサイズにつられる所も多少はあると思うが、その物の話をタイの先生やバディから聞いたりして、新鮮でとても深みを見る事ができた。</p>
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	<p>神戸国際大学にいる留学生はもちろん海外の人との交流を自分から積極的に行うことや、さらには自身の交友を広げ、より広い視点を持つためにコミュニケーションの面で活用していくことです。他にも、ただ留学して得ただけで終わらせるのではなく、その得たものを土台に日本でも成長できるように、次回の留学にも活かせるように、バネとしての役割として活用していきたい。</p>
5. 自由記述	<p>今回の研修で、多くの人に支えていただき、とても感謝しています。タイに行ってから1人だけだと生活面だけでもより難しいものとなっていたと何回も感じました。渡本当にありがとうございました。準備期間を合わせると約5ヶ月間、現地では1週間と長いように感じた短い期間でしたが、お世話になりました。</p>

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 3 月 4 日

海外留学報告書

【参加者D】

所属	経済	学部	経済経営	学科	1	年
プログラム名	アジア研修(タイ)					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 18 日 ~ 2024 年 2 月 25 日 (約1週間)					
留学先 (国・地域)	タイ	留学先大学名	イースタンアジア大学			

1. 留学した理由、目的・目標	これまで日本以外の国に行ったことがなかったので海外の文化や食文化に触れてみたかったこと、タイには日本と少し違う寺院があり違いを学びたかったこと、日本以外の食文化にふれてみたかったことから、今回の留学に参加しました。また、海外の生活では、異なる言語や文化という環境で日々学んでいくことが刺激的な一方で、買い物の仕方が分からないなど困難に遭遇すると思いました。その際、自分がどのように対処するのか自分の力を試してみたかったことも理由の一つです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	初日は自己紹介をしました。始めはお互いに緊張感がありましたがアイスブレイクをし、すぐに打ち解けることができました。一番印象に残っていることはタイ学生と一緒にマッサマンを作ったことです。初めて見る食材ばかりで日本のカレーと違い、不思議な味がしました。またタイの民族衣装に着替えて伝統的な踊りを習いましたが、独特な動きが多く苦戦しました。生活面ではホテルも比較的綺麗で快適に過ごせることができました。ご飯も美味しいものが多く、色々と楽しむことができました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	今回のタイ研修を通して目標としていた現地の人との会話を少しだけすることができました。パディの方が分かりやすいように教えてくださり、始めは日本語では使わない口の形など苦戦することはありましたが、簡単なタイ語を覚えられたので貴重な体験ができました。また5日間を通してパディのことを深く知り、お互いの趣味などを交換し、多くコミュニケーションを取ることができたのでよかったです。新しく発見したことは、食事の前にはいただきますを言わないことです。すごく不思議な感じがしました。また日本と違う食事マナーを知ることができ、チップを払う文化など、新しいことばかりで日々ワクワクが止まりませんでした。タイに限らず他の国も行ってみたい気持ちになり、同時に改めて日本の文化は素敵だなと再確認することができました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	1つ目は国際的なキャリアの構築です。留学経験は国際的な視野を広げ、異文化に対する理解を深める助けになります。その経験を活かして、グローバル企業での就職や国際的なプロジェクトに関わるなど、国際的なキャリアを構築することができます。 2つ目は外国語能力の活用です。留学先で学んだ外国語の能力を活かすことができます。翻訳や通訳業界、国際交流団体での働き、外国企業とのビジネスコミュニケーションなど、外国語を使用する仕事や活動に参加することができます。 3つ目は異文化コミュニケーションのスキル活用です。留学経験は異文化コミュニケーションのスキルを磨く機会でもあります。これを活かして、国際的な団体などでの活動、異文化交流の促進、国際協力の仕事などに携わることができます。 留学経験を活かし自分の興味や目標に合わせて、その価値を最大限に発揮する方法を探求したいです。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者E】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	アジア研修(タイ)					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 18 日 ~ 2024 年 2 月 25 日 (約1週間)					
留学先 (国・地域)	タイ	留学先大学名	イースタンアジア大学			

1. 留学した理由、目的・目標	私は留学生サポーターの活動に参加しているのですが、そこで関わったタイの留学生たちがとても優しい学生たちばかりで、その学生たちがいる国はどんな国なのかとても興味があったからです。活動の中でタイについて教えてくれたり、一緒にタイ料理を食べに誘ってくれて話を聞いていたので、自分の目で見てみたいと思いました。また、微笑みの国と言われており、タイ料理がおいしいと有名なことも興味を持った理由の一つです。そして私の将来の夢がグランドスタッフになることなので、様々な言語に触れたり、知らない文化を知り、多様性や語学力を少しでも身につけられたらと思ったからです。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	一日目は自己紹介や簡単なゲームをして交流をし、一緒にショッピングに行きました。タイの学生さんがたくさん話しかけてくれたり、おすすめのお店に連れて行ってくれたことが嬉しかったし、ありがたかったです。二日目は大学でプレゼンの発表をしました。タイの学生さんのプレゼンの完成度の高さと、日本語の上手さにとても驚かされました。三日目はヤクルトの工場と寺院とアユタヤに行きました。アユタヤでは歴史や文化を感じ、とても印象に残りました。四日目はカレーを作ったり、タイの伝統衣装に着替えて踊りを踊ったり、タイ語を教えてもらいました。カレーはコナツミルクや香辛料をたくさん使っていて私たちが知っているカレーの味と違っていたので、食文化の違いは面白いと感じました。伝統衣装はカラフルでみんなを着て踊ることができてよかったです。タイ語は発音が難しく、きれいに発音できなかったけれど、ありがとうごめんなさいを覚えることができたので満足です。五日目にはワットポーという観光名所に行きました。ここは日本でいう清水寺くらい有名な場所だそうです。建物がきれいで寝仏像があったりしました。タイで行った場所の中でも印象に残っている場所です。最終日はタイの有名な市場に行きました。本当にたくさんのお店があったり、見たことのないものやサービスがたくさんあり、歩いているだけでも楽しかったです。
3. 留学の成果 (目標の達成度 ・新しく発見したこと ・新しく感じたこと など)	今回の研修に参加して本当によかったと思いました。目標としていたタイの文化にたくさん触れることができたし、交流することもできました。タイ語はまったくと言っていいほどわからなかったので少し興味を持ったし、いつか勉強したいと思いました。日本語をあれだけ上手にしゃべることができていたタイの学生さんのすごさを痛感し、私も語学の勉強を頑張りたいなと奮起させられました。また、私は食べるのがとても好きなのですが、今回の研修でさまざまな国の食文化を知ってみたいと思いました。将来そのような道に進むのもいいなという発見がありました。そしてプレゼンでタイの社会問題を少し知ることができたのですが、日本では考えられないような問題が世界にはたくさんあるということに改めて感じました。もっと世界の社会問題にも目を向けて生活していきたいなと思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	今回の研修で、知らない文化や問題がたくさんあることを改めて感じました。今後もっと国際化し、多様性が認められていこうから、もっと広い視野を持って生活していかなければならないという風な気づきがありました。そして私は普段新しいことに挑戦することが苦手なのですが、新しいことや知らないことに挑戦するのは不安や心配もあるけれど、楽しいことだと感じました。臆病にならずに挑戦してみると、意外とできたり、それが自分の自信につながったりするだろうから、挑戦してみるという意識を忘れないで過ごしていきたいと思いました。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学報告書

【参加者F】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	アジア研修(タイ)					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 18 日 ~ 2024 年 2 月 25 日 (約1週間)					
留学先 (国・地域)	タイ・バンコク	留学先大学名	イースタンアジア大学			

1. 留学した理由、目的・目標	<p>私は沖縄県出身で、米軍基地が身近にあることから幼少期から海外の文化や自分とは違う国籍の方と関わるのが好きで、大学生のうちにたくさんの国に行って文化の違いを肌で感じ、環境や食などを楽しみ、たくさんの友達を作りたいと思い、このアジア研修を選び参加しました。私の中でこの研修の目標は、イースタン・アジア大学の学生さんとたくさん深く交流して、タイの良さやちょっとした作法など教えてもらいながら、日本の良さや学生にしかわからない最新のことを知ってもらい仲良くなることです。そして日本とは違う文化を受け入れ、食べたことのない食事や見たことのないアクティビティにも参加し、それを全力で楽しむことが私の今回の目的と目標です。</p>
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	<p>タイに到着してすぐに大学へ向かい、自己紹介やアイスブレイクでお互い少し緊張も打ち解け、すぐに仲良くなりました。2日目にプレゼンテーションがあり、私はアルバイト生がまるで家畜のように働くことが問題になっていることについて発表しました。ステージに立つととても緊張してセリフを忘れてしまい、原稿をみてばかりになり、少し早口になってしまったところもありましたが、後半からゆっくり話すことを意識しました。タイの学生さんがあとから質問してくれたり、とてもよかったですと声かけしてもらえました。午後の取組み前に空いた時間があつたので日本のスラングや、若者言葉などを教えて盛り上がりました。大学内では、タイガーバームを作成したり、外部の先生がお手伝いで来てくれ、タイで有名なカレーをみんなで作り、タイの民族衣装を着させてもらい、伝統的なタイダンスをレクチャーしていただき全員で踊り歩いたり、学内でもたくさん素敵な活動をしました。ヤクルトの工場を見学するためにアユタヤという町にいった時には、時間が余ったためワット・パナンチューンという寺院でお祈りをしたり、川の魚にエサやり体験をしました。そこでは初めてのローカルフード店に挑戦して、アヒル肉が乗ってるプレート注文しました。所々骨が入っていたり、独特な味付けで食べることができませんでしたが、その味がとても印象的に残っています。その他にアユタヤではゾウに乗ったり、有名なワット・プラ・マハタートに行って観光を楽しみました。他にもバンコク内でsiam museumでタイの時代の流れを感じ、ワット・ポーで寝仏像を生で拝み、とても運気がアップしたように感じました。最終日はたくさん買い物をするためにいろんなマーケットを周り、お土産を購入したり、タイの市場を存分に堪能し、最後はタイ古式マッサージで全身を癒し、スワンナプーム空港に向かいました。ここではたくさんあった素敵な活動内容を厳選して書きましたが、素敵な取組みは他にもたくさんあり、どれもとても楽しくて貴重な経験になりました。</p>
3. 留学の成果 (目標の達成度、新しく発見したこと、新しく感じたこと など)	<p>私が初めにあげたこの研修での目標は、イースタン・アジア大学の学生さんとたくさん深く交流して、タイの良さやちょっとした作法など教えてもらいながら日本の良さや学生にしかわからない最新のことを知ってもらい仲良くなることと、日本とは違う文化を受け入れ、食べたことのない食事や見たことのないアクティビティにも参加してそれを全力で楽しむこと、大きく分けた二つの目標は100%に近く達成できたかなと感じます。タイの学生と仲を深めるうちに、日本の若者言葉や自分の出身地の方言を教えたりして盛り上がり、逆に同じタイ語でも場所によって言い方が変わるよと教えてもらったり、お互いの違うところを共有して楽しむことができたことはよかったですと思いました。タイでは日本ではあまり食べないアヒル肉やカエル、ヘビなどもよく食べると聞いてとてもびっくりしました。屋台では普通にサソリが食べ物として売っているのを見て、とてもタイっぽいと思いました。日本に居るときの私の性格は明るいほうですが、自分から話しかけに行くことが苦手な仲良くなるまでに時間がかかる、英語も少ししか話すことができません。イースタンアジア大学の学生さんは人見知りの子が少し多くて、自分から勇気を出して声をかけに行くとかたくさん話してくれて、最後は別れを惜しんで空港でハグするくらい仲良くなることができました。私はこの研修を通して、自分から声をかけに行く大切さと、日本のように言わなくても察して欲しいという雰囲気は海外では通用しないことを自分の身で感じることができました。</p>
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	<p>私は将来キャビンアテンダントを目指しており、当たり前前に求められる語学力を身に着けるだけではなく、異文化理解をし、企業から求められる物事を広い視点から見ることでできるグローバルな人材になりたいと考えています。そして今回の研修で得ることのできた、自分の思っていることを言葉が違う外国の方にも、しゃべることができなくてもジェスチャーなどで伝えることが大切で、それができるだけ、自分が一人でもできることも増え、今の自分に少しだけ自信ができました。私は今回の留学だけにとどまらず、これからたくさんの国へ足を運び、私がなりたい国際的な人材になれるようにこれからもたくさんの文化知り、言語を習得していきたいです。</p>
5. 自由記述	<p>ほんとに素敵な研修でした。関わってくれた方々ありがとうございました。</p>

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

提出日 2024 年 3 月 4 日

海外留学報告書

【参加者G】

所属	経済	学部	国際文化ビジネス・観光	学科	1	年
プログラム名	アジア研修(タイ)					
留学期間	西暦 2024 年 2 月 18 日 ~ 2024 年 2 月 25 日 (約1週間)					
留学先 (国・地域)	タイ	留学先大学名	イースタンアジア大学			

1. 留学した理由、目的・目標	国際文化をはじめとする様々な文化の学びを得るため、今後の自分の夢を叶えるために必要なものを取得するべく留学することに決めました。私の学科である国際文化ビジネス観光学科の強みを活かし、将来私自身の夢であるキャビンアテンダントになるために、多様な国の文化や言語などを経験することに興味を持ち留学を決めました。目標としては、先ほども書いていますが様々な文化や言語などを学ぶことが第一の目標であり、さらにはその国の文化を尊重する考え方を学ぶことが私の目標です。
2. 現地での活動内容 (授業や生活面など)	イースタンアジア大学の皆さんに歓迎して頂いた初日、パディと交流を深めるため日本語を使ったゲームをしました。日本語で質問が書いてあったのですが、現地の学生の方達はすぐに日本語を理解し、私達もとても安心して活動に取り組むことが出来ました。そして、タイの伝統的な料理であるマッサマンカレーを講師の方に教えていただき作りました。日本の一般的な料理とは材料も味も大きく違い、文化の違いをととても感じました。
3. 留学の成果 (<ul style="list-style-type: none">・目標の達成度・新しく発見したこと・新しく感じたこと など)	私が思う目標の達成度は、貴重な経験をし、とても満足のいく成果を得ることが出来たと思います。初めての海外留学ということもあり、自ら現地の学生と接し、私の知らない文化を身に感じて学びたいと思っていました。現地の学生と初めて交流する時、言語の問題や文化の違いをととても心配していたのですが、イースタンアジア大学の学生さん達はとても日本語が上手で親切で、困ったことがあるとすぐに先生や友達に聞き手助けをしてくださり、心配な点が一つも無く、安心してプログラムに取り組むことが出来ました。現地の生活では、日本よりもとても物価が安く、日本で買うと約100円する水もタイだと約30円ほどで買うことができ、外の屋台やショッピングモールなど、どこでも物価の安さを感じました。そして現地の方々は英語を話せる人がいないように感じました。市場などのローカルな場所では、簡単な英語でも伝えることが難しい場合があったので、現地では必要最低限の言語は学んで使えるほうが現地の方の為に良いと身をもって体験して思いました。
4. 留学経験を今後、どのように活かしますか	私は将来海外に関わる仕事をしたいと考えています。今回のアジア研修で体験した上記のことは自分の夢のためにもとてもいい経験になりました。文化の違いや人々の違いを良さも悪さも理解することができ、自国についてもっと理解を深めたいと思うきっかけになりました。アジア研修が海外に関わる良い1歩になり、これからもっと留学や旅行に行き自分の将来のために大切な知識や経験を増やしていこうと思いました。そして就活の際や働く際に自分の経験を生かして働いていきたいと思っています。
5. 自由記述	

※学生から承諾を得たうえで、当報告書の記入内容を掲載しています。

海外留学プログラム／グローバルキャンパス（GC）体験プログラム
参加者へのアンケート

プログラム名（ ）学番（ ）氏名（ ）

以下の各項目それぞれについて、

1. 全くあてはまらない
2. あまりあてはまらない
3. どちらでもない
4. だいたいあてはまる
5. よくあてはまる

のいずれかを選んで、（ ）の中に数字で答えて下さい。

※3を選んだ場合、その理由を（ ）外に簡潔に記入して下さい。

1. あなたが思う自分に対する能力や自信についてお伺いします。

- 研修を受ける国や社会に関する知識を持ち、情報の収集ができています。 ()
- 海外留学プログラム／GC体験プログラムの目的を理解している。 ()
- グローバルシーンにおいて実践的に学習中の言語を使うことができる。 ()
- ライティング（文書作成、理論的思考）の基本を身につけている。 ()
- 学習中の言語で質疑応答に対応できるノウハウを身につけている。 ()
- グローバルシーンにおける対人関係（リーダーシップ、チーム形成、問題解決を含む）を構築することができる。 ()
- グローバルシーンに通用する国際感覚を身につけている。 ()
- グローバルシーンにおいて交渉力を身につけている。 ()
- これからの就職活動について自信がある。 ()
- 与えられた仕事に責任を持つことができる。 ()

2. あなたの異文化に対する態度や意見についてお伺いします。

- 自国とは異なる文化に理解をもっている。 ()
- 自国文化と他の文化の違いを快く受け入れることができる。 ()
- 文化の異なる人々と、様々な方法でコミュニケーションができる。 ()
- 自国文化について相手に伝えることができる。 ()
- 多様な文化や価値観を認識し、多様性を認め合うことができる。 ()

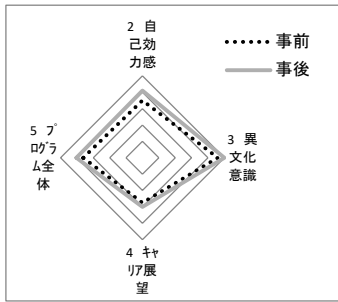
3. あなたの将来のキャリア展望についてお伺いします。

- 自分の適性や能力にあった仕事があるか理解している。 ()
- 自分が就きたい仕事明らかになっている。 ()
- 自分が将来就きたい仕事のために、どのような能力が必要かを理解している。 ()
- 国際的な仕事に関心を持っている。 ()

2023年度後期 アジア研修(タイ)参加前後における意識調査アンケート結果 対象者:7名

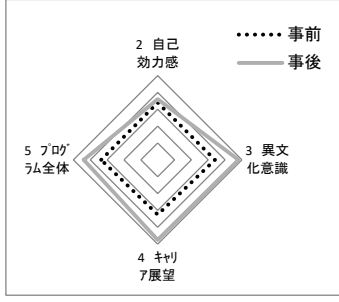
【参加者A】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力		
2 自己効力感	3.5	4.1
3 異文化意識	4.6	5.0
4 キャリア展望	2.8	3.0
5 プログラム全体	3.6	4.0



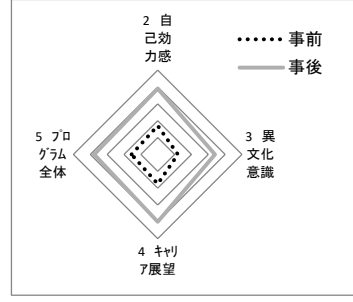
【参加者B】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力		
2 自己効力感	3.4	3.6
3 異文化意識	3.4	4.8
4 キャリア展望	3.3	4.8
5 プログラム全体	3.4	4.4



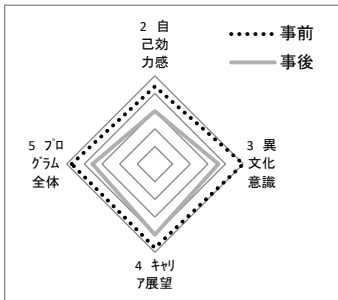
【参加者C】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力		
2 自己効力感	1.7	3.9
3 異文化意識	1.2	3.4
4 キャリア展望	1.8	4.0
5 プログラム全体	1.6	3.8



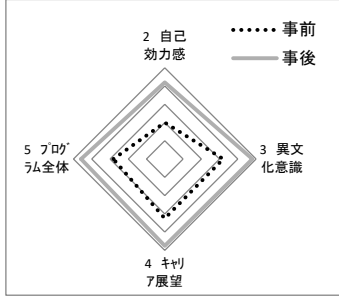
【参加者D】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力		
2 自己効力感	4.4	3.0
3 異文化意識	5.0	3.6
4 キャリア展望	4.8	4.0
5 プログラム全体	4.7	3.5



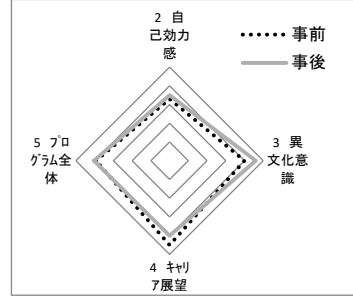
【参加者E】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力		
2 自己効力感	2.0	4.2
3 異文化意識	3.2	4.8
4 キャリア展望	3.3	4.8
5 プログラム全体	2.8	4.6



【参加者F】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力		
2 自己効力感	3.3	3.5
3 異文化意識	4.0	4.6
4 キャリア展望	4.5	4.0
5 プログラム全体	3.9	4.0



【参加者G】

	事前	事後
1 英語コミュニケーション能力		
2 自己効力感	2.6	4.6
3 異文化意識	4.4	5.0
4 キャリア展望	4.3	4.8
5 プログラム全体	3.8	4.8

